



1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1172502260		
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家・東所沢		
所在地	埼玉県所沢市東所沢3-36-18		
自己評価作成日	令和5年12月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社ユーズキャリア		
所在地	埼玉県熊谷市久下1702番地		
訪問調査日	令和5年12月14日	訪問調査員	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

移転してまだ2年半しか経っていない為、綺麗なホームとなっております。柔らかい床を使用しているため、骨折のリスクが少なくなっております。また、日当たりが良い為、日中は明るく暖かくなります。体操にも力を入れているため、午前と午後に体操をおこなっております。好みに合わせてパズルや塗り絵、時代劇鑑賞等もおこなっていただいております。お一人おひとりの心の声に寄り添い、その人らしい生活の場としてホームの在り方を職員全員で考えております。どうしたら楽しんでいただけるか、喜んでいただけるか、笑顔になっていただけるかを話し合い、共有しております。そのためイベントやレクリエーションに力を入れております。職員、ご入居者様共に笑顔溢れるホームとなっております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

武蔵野線東所沢駅から徒歩18分、近くには桜並木のある川があり、静かな住宅街の中にある2階建、2ユニットの開設3年目のグループホームである。ホームの床には柔らかい床材を使用しており、骨折の予防にもなっている。「寄り添う心・支え合う喜び・生命のバトンを繋ぐ責任と誇り」をホームの理念として掲げ、開設当初からのスタッフも多く、一人ひとりが入居者の個性を大切に、個別ケアに取り組む意識をもって支援をしている。健康増進プログラムに力を入れており、1日2回の体操やエクササイズ等、多彩なプログラムを取り入れている。スタッフはチームワークも良く、積極的に意見を交わしながら業務にあたり、イベントやレクリエーションに力を入れており、笑顔溢れるホームとなっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「寄り添う心・支え合う喜び・生命のバトンを繋ぐ責任と誇り」をホームの理念としております。理念は職員会議等で共有しております。	理念を施設玄関ホールに掲示し、毎月の会議でも繰り返し伝え、確認し合い、職員が常時意識できるように働きかけている。理念は職員に浸透し、良く理解されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域包括センターと連携を図り、自治体との情報共有に努めてはおりますが、現状地域との繋がりが持てておりません。	コロナ禍のため入居者が直接地域の方と繋がるのが難しい状況にあるが、市役所のホールにホームの様子や作品を出展するなど、情報発信に努めている。	コロナ禍での開設だったこともあり、地域とのつながりが希薄であるため、自治会を通じ、地域の方へ積極的に働きかけをして、関係づくりをする事が望まれる。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学に来られた方や入居希望のご家族様に対し、不安に思う事や質問に対し傾聴し、理解した上で、一人ひとりに必要な支援方法を丁寧に説明しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	8月より運営推進会議を再開しております。地域包括の方や、市役所担当課にも参加の声かけをおこなっております。そこでホームの現況報告をおこない、情報共有しております。	8月から運営推進会議を再開しており、地域包括の方や家族の参加を得ている。施設の運営状況や行事の報告等を行っており、議事録は関係各所、家族に送付している。要望には可能な限り対応している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ホームの報告を毎月メールで共有しております。ホームの作品展を市役所のホールにておこなっております。	施設の空き状況等、毎月メールで報告し情報共有しており、日常的に協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束禁止のための指針を掲げておりません。年4回身体拘束廃止委員会と年2回の研修会を実施し、ホーム全体で身体拘束のない適切なケアに取り組んでおります。	身体拘束禁止のための指針が共用部分に掲示されている。年4回の委員会と年2回の研修会を行っている。具体的な課題をあげ、全スタッフによる確認テストも行い、ケアを振り返りながら、適切なケアの実施に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止のための指針を掲げております。年3回虐待防止委員会と年2回研修会を実施しております。事例検討会やチェックリストを活用し、情報共有と意識向上を図っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用しているご入居者様があり、分からないことがあればお聞きしてご指導をいただいております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際は担当営業より事前に説明しております。契約時にはご家族様の質問にお答えし、再度説明しながら、十分理解された上で契約を締結しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からのご意見ご要望は電話や手紙でくださる事が殆どでございます。一つ一つ真摯に受け止めて、改善が必要なご意見には具体的な改善案を立てて、報告しております。	面会制限を解除したため、面会が増えてきている。面会時や運営推進会議で意見や要望を聞いており、可能かどうか検討し、できるだけ対応するようにしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回の職員会議を開催し、業務改善やケア上の意見・提案を誰もができるようにしております。また個別面談も年2回実施し、個別の意見が聞ける機会を設けております。	月1回、職員会議を開催し、業務に関する事や個々のケア内容について検討している。職員は積極的に意見を出しており、イベント等に反映している。また、年2回、個別面談を行い、意見を聞く機会を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全職員との個別面談を実施し、職員個々の業務への取り組みや今後への希望、悩み、不満等をヒアリングし把握しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のスキルアップには積極的に研修の参加を進めております。希望があれば出来る限りシフトを調整し、研修の機会を確保しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナは開けたが、現状交流ができておりません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご家族様立会いのもと実態調査をおこない、現在の生活の中での困りごとや心配事をお聞きし、ご本人様のニーズを理解し、入居後の支援に取り入れております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の不安やご要望等は早めにホームから声掛けをし、情報共有を図っております。また、入居後の生活の様子はこまめにお伝えしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その人らしく安全安心した生活を送っていただけようご入居者様に合った支援内容を提案させていただいております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご自身で出来る事を見つけ、職員と一緒にこなさせていただき、ご自身の役割と達成感を持っていただけるよう支援させていただいております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月1回、ホームでの様子や医療面でのご相談等を通信で報告しております。ご家族様にご入居者様の現状をお伝えし、場合によっては電話をかけたたり、ハガキを送っていただいたりご提案させていただいております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話をしたいと希望があれば可能な限り受け入れて、会話を楽しんでいただいております。また、家族契約の携帯電話を使用して、ご家族様や友人とお話をいただいております。	家族以外の馴染みの方の訪問等は制限をしているが、携帯で話したり、遠方の家族に手紙を送るなどの支援を行っている。また、家族との外出の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションは誰もが参加できるような物を選んでおります。また、職員が間に入り、仲の良いご入居者様同士で会話を楽しんでいただいたり、一緒に塗り絵やパズル等をおこなっていただいております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院中に退居されたご入居者様のお見舞いに行かせていただいております。また、希望があれば入居中の写真をアルバムにしてお渡ししております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の表情や仕草、行動を普段から観察し、ご入居者様の意向や希望を汲み取るように努めております。	会話のできる入居者が多く、日々の会話の中から意向や希望を聞くようにしている。言葉で伝えられない方からは日常の表情や仕草、行動などからその思いをくみ取り、職員間で情報共有するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の実態調査や、入居時にご家族様やご本人様から聞き取りをおこなっております。それを参考にサービスに取り入れております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員に聞き取りをおこない、それを素にアセスメントをおこない現状の把握に努めております。また、それらをフロア会議や申し送り等で、情報共有をおこなっております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	フロア会議にてその人らしく過ごせるように課題を検討し、定期的にご家族様やご入居者様からモニタリングを実施し、ご意向に添った介護計画の作成に努めております。	介護計画は全体の見直しを年1回行っており、3か月毎にモニタリングを行っている。家族から寄せられた要望や意見、職員の意見を反映し、本人の意向に沿い現状に即した計画作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	タブレット端末にてブルーオーシャンを使用し、食事や水分、服薬、排泄、口腔ケア、入浴、バイタル等、時系列に個別記録を入力しております。その他、普段と違う様子や気づきもその都度入力しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとり、ご入居者様に必要な支援を検討しながらサービスの提供をおこなっております。経済状況やご家族様の生活圏等も考慮して対応しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ過だった事もあり、地域活動に参加できていないのが現状でございます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科・歯科医の訪問診療や、歯科衛生士による口腔ケア、訪問看護師による医療連携にて健康管理に努めております。また、急変時には24時間いつでもクリニックに連絡をし、指示を仰ぐことができるようになっております。	内科、歯科は月2回の訪問診療と月4回の歯科衛生士による口腔ケア、訪問看護が実施されており、適切な医療が受けられるよう支援している。特別な診療科の受診は家族対応としている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護記録で情報の共有を図っております。気になる事や対応方法については随時相談する事ができ、身体状況の説明やケアの提供を受けております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病棟看護師と電話での確認をさせていただいております。医療連携室相談員と連携を密にして早期退院に向け努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に、重度化及び見取りについての説明をさせていただいております。ホームとして出来る事、出来ない事を明確にし、状況に合わせて主治医・ご家族様・ホームで相談と確認の場を設けております。	入居契約時に重度化及び看取りについての説明をしている。希望があれば、看取りまでの対応をしており、状態に応じてその都度、医師、家族、ホームで相談し合いながら対応している。看取りの研修は必要時に実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生時のフローチャートがあり、連絡体制を整備しております。救急搬送時には緊急医療パスを作成し、救急隊と情報共有を図っております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練をおこなっております。消防署の方に立ち会っていただき、通報訓練、消火訓練等を実施しております。	年2回、避難訓練を実施しており、夜間想定、通報・消火訓練を組み入れ、入居者と一緒に実施している。自治会等への働きかけまではできていない。	災害訓練の機会を利用し、自治会や近隣住民に訓練の案内をして、地域との協力体制を築くことが望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者様の希望や訴えを傾聴し、否定せず共感の声かけをするよう職員間で共有しております。身体拘束廃止委員会や虐待防止委員会の研修会で、尊厳の尊重について学んでおります。	高齢者虐待防止委員会の研修会で人格の尊重について学んでおり、プライバシー保護についても職員は良く理解しており、言葉かけにも注意しながら対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様自身で自己決定できるよう時間をかけて見守っております。表現が難しいご入居者様へは普段の様子を把握し気持ちを汲み取ったり、閉ざされた質問をするよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床・就寝時間は一定の時間ではなく、その時々のご入居者様のペースを大切にしております。入浴やレクリエーション等も相談の上、ご希望に添った対応をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	基本はご入居者様ご自身で選んだ物を着ていただいております。衣替えをおこない、チェスト内は季節に合ったものが入っているようにしております。衣類の破損は縫ったり、ご家族様に連絡をして交換していただいております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭きや下膳を職員と一緒にお手伝いしていただいております。誕生日会やおやつレクリエーションでは、食材を混ぜたり、付けたり等職員と一緒に楽しみながらおこなっております。	食事は入居者の楽しみである意識し、誕生日会やおやつレクリエーションを行っている。おやつを手作りするときは、職員と一緒に食材を混ぜたりして楽しみながら行っている。個々の状況に応じて食器拭きやテーブル拭き等を手伝っていただいている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量は都度記録し、1日の摂取量の把握をしております。摂取状況に合わせて食事形態を変えたり、飲み物の種類を増やして摂取量確保に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自立のご入居者様でも磨き残しがある方には仕上げ介助をおこなっております。全介助の方にはスポンジブラシ等を使用して口腔内の清潔保持に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、排泄チェック表を見ながらトイレへの声かけをおこなっております。また、食前食後等定時の介助にて失禁を減らせるよう努めております。	入居者は全員トイレでの排泄支援を行っている。チェック表を活用し、個々の状況を把握しながら、定期や随時の声かけをして失禁を減らせるよう努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・水分量の確保に努めております。また、散歩や体操を積極的に取り入れて、自然な排便を心掛けております。便秘時には早めに訪問診療医や訪問看護師と連携を取っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご希望に添えるように午前・午後で入浴出来るようにしております。拒否のあった方でも時間や日にちを変え、週2回入浴できるよう努めております。	週2回の入浴を基本として、時間等は特に特定せず、入居者の希望に沿った対応をしている。拒否される方は声かけの仕方を工夫したり、対応する職員を変えたりしながら支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	馴染みの寝具があれば持ち込みして頂いております。生活スタイルに添い、TV鑑賞や読書等余暇を楽しんでいただいております。また、空調管理、定時巡視等の安全確認をさせていただきます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は処方度に確認を徹底しております。変更時には申し送りに記録し、情報共有をおこなっております。服薬介助時にはWチェックの徹底を図り、誤薬事故防止を強化しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物畳みやテーブル拭き等、積極的にお手伝いして下さるご入居者様がおります。また、パズルや塗り絵、時代劇のDVDを鑑賞したり等、気分転換をおこなっております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	希望に添ってご家族様と外出や外食を楽しんで頂いております。また、近隣への散歩や玄関先での外気浴をおこなっております。	遠方への外出はできていないが、近隣への散歩や駐車場に椅子を出して外気浴をしたり、庭の木を見に行ったりするなど、出来るだけ外に出て季節を肌で感じる機会を作っている。家族と外出する方には、その支援を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の持ち込みは控えて頂いております。購入希望があるものは職員が代行して購入させていただくか、ご家族様に持参していただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば携帯電話を使用して頂いております。また、ご家族様に連絡してほしいと希望があれば、職員が取り次いで電話していただいております。ご入居者様宛に届いた郵便物は直接渡しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔で明るい雰囲気大切にしております。洗面台・トイレ・浴室等はこまめに清掃を心掛けております。共有部分には季節感のある装飾を心掛け、日々の生活での楽しい写真を掲示しております。	共用部や廊下、ホールは明るく清潔感があり、ホールに季節感のある装飾等が飾られており、居心地の良い空間となっている。そのため、共用部で過ごされる方が多い。毎日職員が清掃を行っており、清潔に心掛けている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方同士で同じテーブルにしたり、必要に応じて席替えをおこなっております。静かに過ごされたい方に対してはお茶等をお出ししながら、声掛けをおこなっております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	愛用していた持ち込み可能な物は持参して頂いております。馴染みの物、思い出の品、好みの物が居室にあり、安心して過ごせるよう支援させて頂いております。	居室はベッド、チェスト、ロッカーが備え付けられており、入居時に小物、写真等を自由に持ち込み、居心地の良い居室となっている。本人の希望に合わせて職員が清掃しているが、できる方には一緒に清掃していただいている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口にご入居者様の名前を表示しております。トイレ等の共有部分も明記しております。歩行不安定なご入居者様には廊下の手すりを使用させていただくよう声掛けをおこない、付き添いをし転倒防止に努めております。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1・2 3・29	コロナ過になり地域交流が途切れてしまった。それがコロナが明けた今でも続いてしまっていて、地域交流が殆どできていない。	自治会と連携を図り、地域行事に参加し、地域交流の場を持つ。地域の方達にホームを知っていただく。	運営推進会議に自治会の方や、民生委員の方を呼び、ホームの様子やご入居者様の生活の様子がわかるように発信していく。地域の行事に参加できるようにシフトを調整する。	12ヶ月
2	4	運営推進会議、並びに参加人数が少ない。また、ご家族様からの質問や要望も少ない。	運営推進会議、並びに家族会に最低でも4分の1のご家族様、並びに地域の方達にも参加していただけるようにする。	地域包括や市役所の参加を優先してしまっているため、現在平日のみに開催しているため、土曜や日曜にも開催して、ご家族様や地域の方達にも参加していただけるようにする。	12ヶ月
3	35	現在消防訓練をおこなってはいるが、職員とご入居者様だけの参加になっているので緊張感がなく、ただおこなっているだけになってしまっているため、いざ本当に災害が遭った時に訓練通りにできるか不安。また地域との交流がないため、助け合いができるか不安。	地域の方にも参加していただき交流を持つことで、見守りや、一部の簡単な介助を覚えていただき、災害が遭った時に助け合える関係性を築く。	防災訓練をおこなう日を知っていただくために自治会の方に連絡し、近隣の方にもチラシを配る等をして参加していただけるようにする。また、ホームの外にもポスターを貼り、前を通る方にも認知していただけるようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。